



東京産業保健総合支援センター研修案内(令和8年7月)

- ◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。
- ◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。
- ◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyos.johas.go.jp

◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

◆注意◆

- ・お1人様、月1回のみのお受講となります。
- ・令和7年4月以降の認定産業医研修会をお申し込みされる産業医の方は**医師会会員情報システム(MAMIS(マミス))の登録が必須**となります。
- ・令和7年4月以降の単位付与はMAMISにより行います。**単位シールの現物配付は禁止**となります。
- ・MAMIS対応のため、ホームページの利用者登録に新たに**「生年月日(西暦)」「性別」「医籍登録番号」**が必要となりましたので、御登録をお願いします。

●認定産業医研修の申込受付開始は、すべて**6月1日(月)10時～**です。

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
7月9日(木) 14:00～16:00	慢性疼痛と両立支援 慢性疼痛はアブセンティズムとプレゼンティズムの両方の原因となりえる産業保健上注目すべき状態である。厚生労働省科研(牛田班)では、慢性疼痛を持つ労働者の両立支援に取り組んでいる。これまで、日本産業衛生学会でシンポジウムを開き、産業保健における慢性疼痛の取り扱い、いかに患者を支援しつつ、職場での勤務を継続可能にするかについて議論を重ねてきた。本講習会では、最新の知見も含めて、実際の産業保健現場での対応を想定した実地研修を行う。	愛知医科大学医学部疼痛医学講座教授 牛田 享宏 富士通健康推進本部、三越厚生事業団診療所 横山 雅子	生涯・実地2	50
7月14日(火) 13:30～16:30	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	小嶋 純	生涯・実地3	16
7月16日(木) 14:00～16:00	治療と仕事の両立支援 少子高齢化、グローバル時代の中で重要度が増している『治療と仕事の両立支援』の総論として、療養の考え方、復職判定、事例性/疾病性、医学用語の事例性の言葉への翻訳、気づきにくい症状(invisible symptoms)などの基礎知識を解説します。 『治療と仕事の両立支援』の各論として、①メンタルヘルス不調と就労、②がんと就労(がん予防・がん検診・がん治療と仕事の両立支援)、③循環器疾患と就労について解説します。	遠藤 源樹	生涯・専門2	55
7月17日(金) 14:00～16:00	ストレスチェック医師面接のコツ 今まで200件以上のストレスチェック医師面接(高ストレス者面接)を担当した経験から、効果的な医師面接の進め方を考えます。 医師面接にはどのような人が来るのか、問診票の活用法、面接の初めに何を伝えるか、ミニレクチャー、ミラクル・クエスト、面接の終わり方、報告書・意見書の書き方などのコツをお伝えします。 医師面接を初めて担当する嘱託産業医を念頭に置いています。面接の進め方を迷っている方もどうぞご参加ください。	(株)ジャパンEAPシステムズ取締役・顧問医 米沢 宏	生涯・専門2	55
7月22日(水) 14:00～16:00	高齢者の安全衛生対策の進め方～努力義務化とフレイル、ロコモ～ 休業4日以上死傷者数のうち50歳以上の高齢者が半数以上を占めており、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。また、筋力等の低下に伴う転倒等の労働災害を防止するため、フレイル、ロコモティブシンドローム(ロコモ)予防を意識した健康づくり活動が重要視されてきています。 厚生労働省は、「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」を公表していましたが、令和7年5月の労働安全衛生法改正により、高齢者の安全衛生対策は事業者の努力義務とされ(令和8年4月施行)、ガイドラインの内容は同法に基づく指針とされることになりました。 これらの要点と留意事項を説明します。	荒川 輝雄	生涯・更新2	55
7月29日(水) 14:00～16:00	自律的な化学物質管理における健康診断のあり方 令和4年度の法令改正により、化学物質の自律的管理が令和6年4月から始まりました。今までのような法令を遵守さえすれば良いという管理から、事業者自らがリスクを評価し、対策を検討・実施する必要があります。 産業医に関連する業務でも、リスクアセスメントや対策に基づきリスクアセスメント対象物健康診断を実施するなど、状況に応じて“判断”が求められる健康管理を行う必要があります。 当研修では、化学物質管理者が推進するリスクアセスメントや保護具を含めたリスク対策の概要を知り、その流れの中で、リスクアセスメント対象物健康診断をどのように進めていくか、ポイントについて考えます。	中原 浩彦	生涯・更新2	55

◆産業保健研修◆ 産業看護職・衛生管理者・人事労務担当者等産業保健スタッフを対象とした研修です。

※単位等の取得はできません。

●産業保健研修の申込受付開始は、すべて**6月1日(月)10時～**です。

<web研修> ◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、**お申し込みください**◆

研修日時	研修テーマ	講師	定員
7月3日(金) 14:00～16:00	<p>【web研修会】 職場のメンタルヘルス対策としてのハラスメント対策</p> <p>職場のハラスメントは従業員の心身の健康被害のみならず貴重な人材の損失、職場秩序の乱れや企業の社会的評価等にも大きな悪影響を与えかねない重大な組織リスクといえます。職場で問題となるハラスメントの基礎および行為者の責任と企業の法的リスクについて理解し、安心して働き続けることのできる職場環境をつくるポイントと対応すべき組織体制について学びます。</p>	産業カウンセラー 森井 梢江	70
7月7日(火) 14:00～16:00	<p>【Web研修会】職場の感染症対策</p> <p>職場の感染症対策の重要性が増しています。これには季節性インフルエンザなど日常的に発生する感染症だけでなく、新型コロナウイルス感染症についても十分な対策を構築しておく必要があります。本研修では国内の職場や海外派遣労働者にリスクのある感染症対策の最新情報を解説します。</p>	濱田 篤郎	70
7月27日(月) 14:00～16:00	<p>【web研修会】 メンタルヘルス対策と心の健康づくり計画作成のポイント</p> <p>職場や業務に対して悩みやストレスを抱える社会人は、近年増加傾向にあり、メンタルヘルス対策の取り組みは、事業場にとって喫緊の課題の一つと言っても過言ではありません。そこで、厚生労働省では、メンタルヘルス基本方針として、事業場に対して「心の健康づくり計画」の策定を指示しています。当研修では、その「心の健康づくり計画」の策定方法、ポイント等を解説します。</p>	<p>本山社会保険労務士/ 行政書士事務所所長 特定社会保険労務士・ 行政書士・公認心理師 本山 恭子</p>	70

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講師	定員
7月2日(木) 14:00～16:00	<p>社内メンタルヘルス研修の組み立て方 ～企画・資料作成・実践～</p> <p>社内メンタルヘルス研修は、メンタルヘルス対策の一次予防として、重要な役割を果たしています。本研修では、コルプの学習論やTA(Transactional Analsis)の契約の理論等を紹介し、企画から資料作成、実施まで、効果的な社内研修の組み立て方について、講義をします。実践編では、傾聴のワークを紹介し、グループに分かれて、体験していただきます。</p>	藤里 智子	30
7月6日(月) 14:00～16:00	<p>元気な職場づくりにつなげるメンタルヘルス活動～対応事例～</p> <p>大手印刷会社で20年以上メンタルヘルス対策に携わった経験を基に、元気な職場づくりにつなげるメンタルヘルス活動の一例を紹介し、メンタルヘルス活動に携わっている担当者にとってメンタル不調者の休職中の対応から復職支援について、対応事例によるグループワークから対応方法を共有していただきます。また、ストレスによる腰痛、頭痛を予防する簡単にできる運動方法(骨ストレッチ)も紹介します。</p>	<p>中防災安全衛生エキスパート スポーツケア整体研究所(株) 小沼 博子</p>	55
7月10日(金) 14:00～16:00	<p>労働安全衛生管理基礎講座④</p> <p>「労働安全衛生法」の中で労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。本講座ではテキストに当センター発行「令和7年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向も紹介します。今回はその4回目、快適職場、作業環境測定等の他、過重労働による健康障害防止対策にとって重要な労働基準法(労働時間管理関係)について解説します。本講座は令和7年度に実施した同名の講座と同様の内容となっておりますが、令和7年以降に改正された法令等については改正後の法令に基づき解説します。なお、「令和7年度版労働衛生のハンドブック」は、当センターのホームページに掲載しております。</p>	中山 篤	55
7月24日(金) 14:00～16:00	<p>がん等の疾病における両立支援のさまざま ～休職からの復職支援、休職せずの勤務配慮における支援など～</p> <p>今は、がんの診断を受けながら、働くことの出来る時代になっていることは、皆さんいろいろと見聞きしていることでしょう。医学の進歩と意識の向上等がもたらした賜物ですね。さて、職場では、実際どんな風に支えているのか、どんな風にしたら働き続けられる職場環境であるのか、在宅ワークの活用も一つでしょう。プライベートな病気ではありますが、生涯のうち、2人に一人が遭遇する病気、その支援の実践を交えながらお伝えし、当事者の皆さんの思いなど、寄り添うことの意味を一緒に考えていきたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。</p> <p>※当研修の前14:00～14:15の時間帯に、動画視聴による「勤務間インターバル制度に係る研修」を行います。</p>	<p>労働者健康安全機構産業保健 アドバイザー 公認心理師 菅野 由喜子</p>	55